平成24年度アクションプランく復興・再生及び災害からの安全性向上>

目指すべき	政策課題	重点的取組			
社会の姿	以农际阻	地震	津波	放射性物質による影響	
・東日本大震災から の復興・再生を遂げ、 地域住民がよく ・東北地域の復興・ ・東生を全、かの 事生を全、かの 事生を全、かの 事に より で り で り で り で り で り で り で り で り で り	災害から命・健康 を守る	● 地震発生時に必要な情報の住民へのより正確かつ迅速な伝達● 地震で倒壊したガレキや崩れた土砂からのより迅速な人命救助	民への伝達と避難行動の促進	 ★ 放射性物質による健康への影響に対する住民の不安を軽減するための取組 →・食品、水の放射性物質による影響の低減 ・放射性物質により汚染された大量の災害廃棄物等の安全かつ低コストな処理 ・モニタリング情報のより正確でわかりやすい住民への伝達 	
	災害から仕事を 守り、創る	 農林水産業および製造業施設の耐震性能の向上 産業施設の火災等の二次災害防止機能の強化 革新的技術を活用した被災地で地域の強み(自然、文化、伝統での起業 	期再生 ● 強い競争力をもつ新しいかたちでの農林水産業の再生	 農地・森林等における放射性物質のより効果的・効率的な除染 農水産物、産業製品の放射性物質のより迅速な計測・評価および除染 	
	災害から住まい を守り、造る	既存構造物の耐震性、耐火性の向上新設構造物の耐震性、耐火性の飛躍的向上より低コストな液状化被害防止	地理的条件を考慮した住まいの配置とまちの設計による津波被害の軽減大量の災害廃棄物のより迅速、円滑な処理	● 避難対象区域の治安及び地 域コミュニティの維持	
	災害からモノ、 情報、エネルギー の流れを確保し、 創る	地震災害時に必要な物資を必要な場所に運ぶ物流の確保地震災害時に必要な情報のより迅速かつ確実な伝達地震災害時の電力、ガス、上下水道のより迅速な機能回復	 必要な物資を津波による孤立地域に的確に運ぶ物流の確保 津波で通信が途絶した地域での必要な情報の確保 津波による停電地域を最小限にでき、より迅速に復旧可能な電力の供給 	● 放射性物質のより迅速な計 測・評価および除染による、 生産から消費における円滑 な流通の確保	

平成24年アクションプランくグリーンイノベーション>

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組		
	クリーンエネルギー供給 の安定確保	技術革新による再生可能エネル ギーの飛躍的拡大		
	分散エネルギーシステム	革新的なエネルギー創出・蓄積 技術の研究開発		
自然と共生し持続可能な環境・エネルギー先進国	の拡充	エネルギーマネジメントの スマート化		
	エネルギー利用の革新	技術革新による消費エネルギー の飛躍的削減		
	社会インフラのグリーン 化	地域特性に応じた自然共生型の まちづくり		

平成24年度アクションプランくライフイノベーション>

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組		
	先制医療(早期医療介入)の 推進による発症率の低下	ゲノムコホート研究と臨床関連情報の統合による予防法の開発(継続)		
	がん、生活習慣病の合併症	がんの早期診断、治療技術の研究開発(肺、 膵、肝がんは継続)		
心身ともに健康で活力	等の革新的な診断・治療法	糖尿病等の生活習慣病の合併症に特化した 予防、診断、治療に関する研究開発(新規)		
ある社会の実現	の開発による治癒率の向上等	うつ病、認知症等の精神・神経疾患の診断マーカーの探索及び画像診断法の開発とそれに基づいた発症予防、早期診断、進行遅延(新規)		
	身体・臓器機能の代替・補完	再生医療研究開発(新規)		
	優れた医療技術の開発促進	医薬品、医療機器、再生医療等の新たな医療技術開発を促進するためのレギュラトリーサイエンス※の推進(新規)		
高齢者・障がい者が自立できる社会の実現	介護•自立支援	高齢者・障がい者の機能代償・自立支援技 術開発(継続)		

[※] 科学技術の成果を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づく的確な予測、評価、判断を行い、科学技術の成果を人と社会との調和の上で最も望ましい姿に調整するための科学

平成24年度アクションプラン<基礎研究の振興及び人材育成の強化>

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組
世界共通の課題を克服し、	世界トップレベルの基礎研究の強化	科学技術イノベーションに資する 世界トップレベルの基礎研究ハブ と国際的な連携ネットワークの 形成
豊かな国民生活を実現し、 科学技術を文化として育み、 多様な人材を育成確保する 社会	独創的で多様な基礎研究の強化	競争的資金に関する執行の柔軟性 の向上、競争的資金の審査等の 制度改革、国民への情報発信の 強化
	科学技術を担う人材 の育成	若手研究者のためのテニュア トラック制の普及、定着

平成24年度アクションプラン対象施策の予算案

重点対象	政策課題	※1 平成23年度当初予算		平成24年度 政府予算案		平成23年度 第4次補正
		施策数	当初予算額 (百万円)	施策数	予算案額 (百万円)	予算額 (百万円)
作四 下上光·バー	災害から命・健康を守る	14	2,768	38	47,814	_
復興・再生並びに	災害から仕事を守り、創る					
災害からの安全性 向上	災害から住まいを守り、造る] 14				
""-	災害からモノ、情報、エネルキ゛ーの流れを確保し、創る					
グリーン イノベーション	クリーンエネルギー供給の安定確保		126,002	77	132,755	10,228
	分散エネルギーシステムの拡充	70				
	エネルギー利用の革新					
	社会インフラのグリーン化					
	先制医療(早期医療介入)の推進による発症率の低下		28,411	29	38,900	-
	がん、生活習慣病の合併症等の革新的な診断・治療法					
ライフ イノベーション	の開発による治癒率の向上等	26				
	身体・臓器機能の代替・補完	20				
	優れた医療技術の開発促進					
	介護·自立支援					
基礎研究の振興	世界トップレベルの基礎研究の強化	2	16,272	3	^{※2} 16,433	-
及び	独創的で多様な基礎研究の強化					
人材育成の強化	科学技術を担う人材の育成					
	合 計	112	173,453	147	235,902	10,228

^{※1} 平成23年度当初予算額は、平成24年度アクションプラン対象施策のうち、継続施策について計上。

^{※2} 科研費は除く。

^{※3} 予算額は平成24年2月9日時点のデータから試算したもので推定を含む。

平成24年度 重点施策パッケージについて

平成24年度重点施策パッケージ

- 第4期科学技術基本計画に従い、各府省が成果検証可能な具体的目標を掲げ、その達成に必要な複数の施策をまとめた施策群をいう
- 各府省が特に推進しようする施策パッケージを提案
- 科学技術政策担当大臣・有識者議員は、<u>各府省が提案した施策パッケージから重点化すべきものを特定し、総合</u>科学技術会議に報告